

報告 「福祉施設・事業所における防災・BCP対策セミナー」を開催しました。

日時 平成26年10月11日(土) 13:00~17:30

会場 仙台市泉社会福祉センター 大会議室 1・2

講師 山口泰信氏 株式会社BCPJAPAN代表取締役

東日本大震災から3年7ヶ月が経ちました。あのつらい日々の経験や苦労は、今後起きるであろう災害に対して生かせるものになっているのでしょうか。連続して襲来した台風や御嶽山の噴火など、想定外の災害発生が日常的に起きている今、再確認して、より生かせるBCPにするために今回このセミナーを開催しました。

必ず起きると言われる南海トラフ地震に備える。物流の大拠点である地域が被災地になった時、その影響は東日本大震災の数倍もの大きさに私たちにも降りかかってきます。食糧、燃料、あらゆる物資が長期間に渡って手に入らなくなった時どう対応することができるか。今からやるべき準備の重要さを痛感させられました。



昨年、山口泰信氏による講義形式の防災セミナーを開催しましたが、今回は講義とワークショップ形式で更に内容を深めたセミナーとしました。

【講義でのポイント】

- ・いつでも、トリアージの意識を持つ。諦める決断も大事。
- ・逃げるべきか残るべきかの決断など、リーダーの判断が明暗を分ける。
- ・ラジオ、携帯、災害用パソコン(デザリングで使用)など、情報収集の手段をいくつも持っていること。
- ・事業所が持っているリスク分析を、J-SHISなどで数値で出して把握する。
- ・災害時の状況や対応を文書化して記録を残し、伝えていくことが大切。

【ワークショップと発表】

ワークショップでは、参加者各々の施設の災害発生リスク・事業の優先順位・ライフラインの事前準備・災害対応体制などの分析を、用意された資料の空白を埋める作業で実施。参加者全員が発表して、講師から個別指導のアドバイスをいただきました。

